

## 令和3年度 数学科 授業充実（改善推進）プラン

### 昨年度のプランの検証

苦手分野において既習内容の振り返りを行いながら授業の導入に繋げた結果、基礎・基本の定着を図れた。また、話し合いや学び合いの活動を通して、様々な考え・解法を知り、自分の考えと比較することでよりよい方法を導き出そうと努力した。また、単元テストやテスト直しの課題を継続したことで技能・考え方の向上が見られ、それによる達成感からさらに意欲・関心が高まっている。

### 数学科における調査結果の分析

内容別結果の分析	【1学年】 小数・分数の計算、図形の角度、グラフの読み取りの分野で全国平均を上回っているが、平行四辺形の面積、図形の拡大・縮小、場合の数の分野では全国平均を下回っている。 【2学年】 1次方程式と平面図形の分野で全国平均を下回っているほかは全国平均を上回っている。 【3学年】 どの分野においても、全国平均を下回っている。
観点別結果の分析	【1学年】 知識・理解の観点においては全国平均を上回っているが、思考・判断・表現の観点では、全国平均を下回っている。 【2学年】 全ての観点において、全国平均を上回っている。特に技能は5P高い。 【3学年】 どの観点においても、全国平均を下回っている。

### 調査結果に基づいた授業改善のポイント

数学への関心・意欲を高めるために、授業の導入の工夫を行い、各学年の苦手分野において既習内容を振り返る。さらに単元テストや小テストで基礎・基本の定着を図る。また、生徒同士の教え合い学び合いの活動を通して、様々な考え・解法を知り、応用力を身につけさせる。

#### 【1学年】

- ・習熟度別少人数クラスにより、基礎の反復演習による知識・理解の充実を図るクラスと、言語活動による思考・判断・表現の充実を図るクラスとを設定し、生徒の状況に応じた授業を展開する。

#### 【2学年】

- ・少人数授業により個別指導の場を増やし、基礎・基本の定着を図る。できていない生徒には的確なアドバイスを。課題解決の問題を通して様々な考え方・応用力を身につけさせる。

#### 【3学年】

- ・1、2年学習内容の復習なども取り入れながら基礎・基本の定着を図ることで、数学への関心・意欲を高めていく。

### 授業改善策

\* 教員の指導力の向上とともに、生徒個々の状況を更に検討し、生徒が意欲的に授業に参加できるように努める。

#### 【1学年】

- ・評価の観点とそれを達成するための手立てを生徒に明確に伝えることで、生徒が個々に目標を設定し授業に取り組むおとができるようにする。

#### 【2学年】

- ・「主体的に学習に取り組む態度」、「思考・判断・表現」を高めるために、課題解決の問題や思考を必要とする問題に取り組む時間を設け、解法について話し合い、思考力を身につけさせる。

#### 【3学年】

- ・「数学への関心・意欲・態度」、「数学的な技能」を高めるために復習を適宜取り入れながら、教材の内容に工夫を加える。

